

議 事 録

議 題	西日本・カンボジア友好協会 総会
開催日時	令和 6 月 5 月 31 日 (水) 17:00~18:00
開催場所	リファレンス第博多ビル 11 階 1109 号室
報 告 者	福松
会議内容	令和 5 年度事業報告・令和 6 年度事業計画 他

※会開始前に、故 稲葉 武彦様(視察委員長)に黙禱をいたしました。

・会長挨拶

(眞鍋) 本日は大変お忙しい中、たくさんの皆様にお集まりいただきありがとうございます。また平素は当協会の活動にご理解をいただき、本当にありがとうございます。重ねて御礼申し上げます。先ほど稲葉様への黙禱をさせていただきましたが、(生前は)大変お世話になりました。今年のお正月まではお会いしていたのですが、本当に急に旅立たれました。この協会にはなくてはならない方で、稲葉さんの意思を継ぐという意味でも今後もカンボジアとの友好を深めていきたいと思っています。

また昨年は(協会)10周年ということで無事にたくさんのご協力をいただきまして周年事業を終了いたしました。本当にありがとうございました。7月には、周年事業に合わせてカンボジア視察を行い、高田団長を先頭に実施しました。7月は雨季の時期だったのですが、皆様誠にありがとうございました。今年も引き続き視察に行きたいと思っております。今年は10月で視察には良い時期だと思います。たくさんの皆様にご参加いただければと思っております。それでは、本日はどうぞよろしくお願いいたします。

(1) 令和 5 年度 事業報告

(事務局) ※【第 1 号議案】令和 5 年度事業報告・決算報告※

和 5 年度の事業についてご報告いたします。第 1 号議案①の令和 5 年度事業報告をご覧ください。

令和 5 年度は 2 か月に 1 回常任理事会を開催いたしました。6 月 20 日には対面での理事会総会を開催いたしました。また 12 月には、第 2 回の理事会を開催いたしました。

10 月 11 日には協会創立 10 周年記念式典・祝賀会を開催いたしました。記念式典では、カンボジア演奏家よりお祝いの演奏をはじめ、協会 10 周年の歩みを御覧いただきました。また、歴代会長への感謝状授与、カンボジア視察報告、スピーチコンテスト特別賞受賞者による発表を行いました。祝賀会では、南野陽子氏(日・カンボジア友好 70 周年親善大使)からのメッセージを披露され、また、出席者の交流の場となりました。

その他の活動といたしましては、令和 5 年度の新規奨学生の選考を行いました。新規奨学生、継続奨学生の奨学金授与に向けて現在準備を進めております。

本日、新規奨学生の募集時に提出してもらった作文を後方に置いておりますので、ぜひご覧いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。また、周年事業に合わせ、スピーチコンテスト特別賞受賞者を招待し、新日本製薬株式会社様の会社ならびに物流センターの見学を実施いたしました。

また、西日本・カンボジア友好協会のホームページに定期的に活動の進捗記事を公開させていただき、また会員の皆様にもご案内させていただきました。

昨年度は、コロナ明けを受け、7 月 2 日から 7 日にかけて現地視察を遂行いたしました。現地では、日本企業の見学や日本大使館訪問、王立プノンペン大学を訪問し、奨学金を直接授与いたしました。

つづきまして決算報告を行います。第 1 号議案②をご覧ください。

こちらの資料内の、令和 5 年度決算額(B)と記載されております表の中央部分をご覧ください。収入の部につきましては、入会金収入で 90,000 円、会費収入で 1,320,000 円、周年事業会費収入等で 1,684,000 円、寄付金収入として 1,059,480 円、雑収入として 70 円を含めまして収入合計が

4,253,550 円となっております。各事業費収入の③視察団派遣の収入が 0 となっておりますのは、従来の慣例により、旅行会社に直接支払いをしたことにより、0 となっております。今年度以降については、一旦事務局で参加費を取りまとめ、事務局から旅行会社に支払う形を取りたいと考えておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

続きまして支出の部についてご説明いたします。支出の部の各種経費は記載の通りで、支出で支出合計が 4,648,198 円となりました。

次に支出合計の下の段をご覧ください。収入の部から支出の部を引きました当期正味財産増加額がマイナス 394,648 円となり次期繰越正味資産額は 2,992,636 円となっております。尚、1 番下の段にある正味財産増減の部は、別立の寄付金、スピーチコンテストや奨学金の支援金でございますので以下の通りご確認ください。

次のページから順に貸借対照表、財産目録の明細を添付いたしております。令和 5 年度事業報告並びに決算報告は以上です。

(眞鍋) ありがとうございます。ここで監査報告を篠原監事よりお願いします。

(長門) 記載の通り、令和 5 年度収支決算書・貸借対照表及び財産目録等を監査した結果、いずれも正確かつ妥当なもの認めます。

(眞鍋) では令和 5 年度事業報告書及び決算報告書にご質問・ご異議などございましたら挙手をお願いします。

(一同) ———— 異議なし (拍手) ————

(2) 令和 6 年度事業計画・収支予算

(事務局) ※【第 2 号議案】令和 6 年度事業計画(案) ※

令和 6 年度事業計画(案) について説明いたします。第 2 号議案①の令和 6 年度事業計画(案) をご覧ください。昨年の令和 5 年度より、全ての会議等が対面での開催となっておりますので、今年度も原則対面での開催となります。総会は年に 1 回、常任理事会は隔月開催、理事会は必要に応じ随時開催予定です。委員会活動についてご説明いたします。

※令和 6 年度事業計画内【○委員会】※読み上げ

10 月 13 日より 6 日間の予定でカンボジアの視察ツアーを予定しております。今年度は豊田副会長に団長をお願いしております。主な訪問先は王立プノンペン大学、在カンボジア日本大使館等を予定しております。皆様には改めてご案内させていただきますので、ご参加をどうぞよろしくお願いいたします。

(事務局) ※【第 2 号議案】収支予算(案) ※

つづきまして、令和 6 年度収支予算(案) についてご説明いたします。

第 2 号議案②の令和 6 年度正味財産増減予算書(案) をご覧ください。

その中の左側令和 6 年度予算額をご確認ください。収入の部は入会金と会費収入、各種事業収入、寄付金収入、また雑収入で 9,412,000 円の予算となっております。

次に下の段の支出の部をご覧ください。

支出の部合計が 9,407,000 円で、当期正味財産増加額が 5,100 円となり次期繰越正味財産額が 2,997,736 円となっております。

指定正味財産増減の部に関しまして、これまでご寄付いただいた繰越金を使用させていただく形といたしますので、新たな受け取り寄付金は 0 円となります。一般正味財産への振替額として 1,550,000 円計上させていただき、当期正味財産増減額がマイナス 1,550,000 円、次期繰り越し正味財産額が 203,063 円となります。

令和 6 年度収支予算の説明は以上となります。

(眞鍋) では令和 6 年度事業計画及び収支予算にご質問・ご異議などはございませんでしょうか。

(一同) ———— 異議なし (拍手) ————

(3) 役員の選任に関する事項・協会会則に関する事項

(事務局) ※【第3号議案】役員改選(案)※読み上げ

(眞鍋) では【第3号議案】役員改選(案)にご質問・ご異議などはございませんでしょうか。

(一同) ———— 異議なし(拍手) ————

(事務局) それではここで役員交代になられた方にご挨拶を頂戴できればと思います。

(Sovanborey) ありがとうございます。本日はご招待いただきありがとうございます。ここにプレジデントとして参加できることを誇りに思います。本日のミーティングを(翻訳アプリを用いながら)聴いていました。この協会の予算のことなどを理解することができました。またカンボジアの学生に奨学金を授与していることを理解しました。本当にありがとうございます。

(田川) この度はご承認ありがとうございます。これから一生頑張ってまいりますので、前任の樋渡と同様、よろしくお願いたします。

(曾根崎) 続きまして、入会申込についてご説明をお願いします。

(事務局) 理事会で新入会申込者のご承認をいただいた。また今回4名特別会員として加わっていただいた。詳細を岩本副会長よりお願いたします。

(岩本) 白鳥様・・・カンボジア(レストラン等)に日本から食材を輸入している。

樋口様・・・メコン大学の教授をされている。

Mao 様・・・稲葉さまが投資している日本からカンボジアに進出した企業の支援をしている。今年の視察での現地日本企業の紹介等もしていただく予定。

Hon 様・・・日本からの支援を受けて学校等を建設している。

先ほど新入会の方の話があったが、小林名誉会長が会長をされていたときは会員が120名ほどいた。

このような協会は会員数が力になるので、ぜひ周りにもお声がけいただきたいし、我々も「入ってよかった」と思ってもらえるようにしていきたい。

(事務局) ここで、新たにご入会いただいた大野様にご挨拶いただければと思います。よろしくお願いたします。

(大野) これから頑張るまいりますのでどうぞよろしくお願いたします。

(4) 講演会(中村学園大学 准教授 中島 憲子先生)

以上